

羽田中学校の ESD 活動

＜活動の概要＞

- ・当校は、「雨ニモマケズ～明るく・たくましく、心豊かな人間の育成をめざし、心身ともに調和のとれた生徒を育てる～」を学校理念としている。ESDを心豊かな人間の育成の基盤と捉え、ESDの実践を通して他者と協力する態度や多面的、総合的に考える力を育成することを目標とした。
- ・「互いの立場を理解する」「他者と協力する」を柱に、地域に関わる活動、他者と関わる活動を行った。また、総合的な学習の時間の活動についても記載する。

・活動の実際

① 地域・環境に貢献する活動（牟呂用水浄化活動 1 年生・校区清掃 2・3 年生）

牟呂用水浄化活動を通して、環境について考えると同時に自分たちの生活する地域を大切にすることを育みたいと願い、この活動がある。1 年生が地元の小学 6 年生とグループになり、活動を行った。小学生と一緒に活動したことで、活動内容等に細かな気配りが見られた。また、活動を通してごみや雑草がたくさんあることを実感し、「どうしたらごみがなくなるか」、「もっと美しく保つにはどうすべきか」、を考えるきっかけとなった。活動後の振り返りには、「今後も牟呂用水を大切にしていきたい。」という記述が多く見られた。さらに、「長い歴史のある牟呂用水を私たちが次の時代につなげていく責任がある。」といった記述も見られた。

2、3 年生は、校区内にある公園や神社、公共施設の清掃活動を学級ごとに分かれて行った。



② 総合的な学習の時間（全校生徒）

2 年生、3 年生では、総合的な学習の時間に SDGs に関わる学習をすすめている。授業では、SDGs の目標や日本における取り組みなどについて学習した。SDGs の目標に少しでも近づけるように、自分たちにできることについて話し合ったり、日常生活で実践したりできるような学習活動を今後も進めていく。

1 年生では、福祉学習に取り組んでいる。身近にある福祉について、自分たちでテーマを決めて調べ学習を行った。また、福祉体験教室を開催した。手話、点字、要約筆記、盲人ガイドの 4 つの講座から 2 つを選び参加した。全ての人が暮らしやすい地域の実現に向けて、中学生の自分たちにできることについて学級ごとに話し合った。学習を通して、誰もが安心して利用できる施設環境の実現に向けた取り組みの大切さについて理解を深めた。